

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	RPOC(Retained products of conception)と診断した 30 症例に対する 診断、治療指針の検討 (B24-149)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部婦人科学 教授 加藤 一喜
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	RPOC(retained products of conception)は「流産、分娩後に妊娠付属物(胎盤、卵膜)の一部または大部分が娩出せず子宮腔内に残留すること」と定義されており、以前は胎盤遺残と呼ばれていました。RPOC は分娩後に持続する不正出血などで気づかれることが多いですが、中には命の危険性のある多量出血に至る例も稀ではありません。リスク因子として生殖補助医療の関与などが示唆されていますがその全容はいまだ把握できていません。診断、治療に明確なガイドラインはなく、危機的出血になりうる病態であるかを知るにはCT検査、MRI検査、超音波検査などを使用して総合的に判断する必要があります。本研究では RPOC と診断された患者様の治療方針の決定有用性を明らかにすることを目的としました。
調査データ 該当期間	2023 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 10 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	調査データ該当期間内に、RPOC(Retained products of conception)と診断を受けた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2023 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 10 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	研究機関の長の許可日から利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究の遂行のための費用は、北里大学産婦人科研究費を使用します。利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されています。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。</p> <p>また、研究への診療情報の使用に、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部産科学・助教 担当者：岩端 俊輔(イワハタ シュンスケ) 電 話：042-778-8111(代表)</p>
備 考	